



ILCの研究内容などを知り感想を述べる水沢南小の児童

2016. 5. 28

未来思い目輝かせる

市、出前授業スタート



奥州

奥州市は27日、水沢区の

水沢南小（佐藤良校長、児童650人）を皮切りに、国際リニアコライダー（ILC）についての小中学校対象の出前授業を始めた。同校は5年生85人が参加。市職員が講師となり、宇宙誕生の謎に迫るILCの研究内容などを紹介し

た。

ILCができれば世界中から科学者が集まったり、外国人向けの仕事が増える可能性があることも説明。児童は「理科を勉強して科学者になりたい」「英語の先生になりたい」など感想を述べた。

上條種穂君は「ILCができるかもしれない未来のことも思い浮かべて、自分の将来の夢を考えたい」と目を輝かせた。

授業は来年1月まで、希望のあった小学校13校、中学校11校で実施。14年度に中学校で始め、15年度から小学校にも対象を広げた。一関市と県南広域振興局も出前授業を行っている。